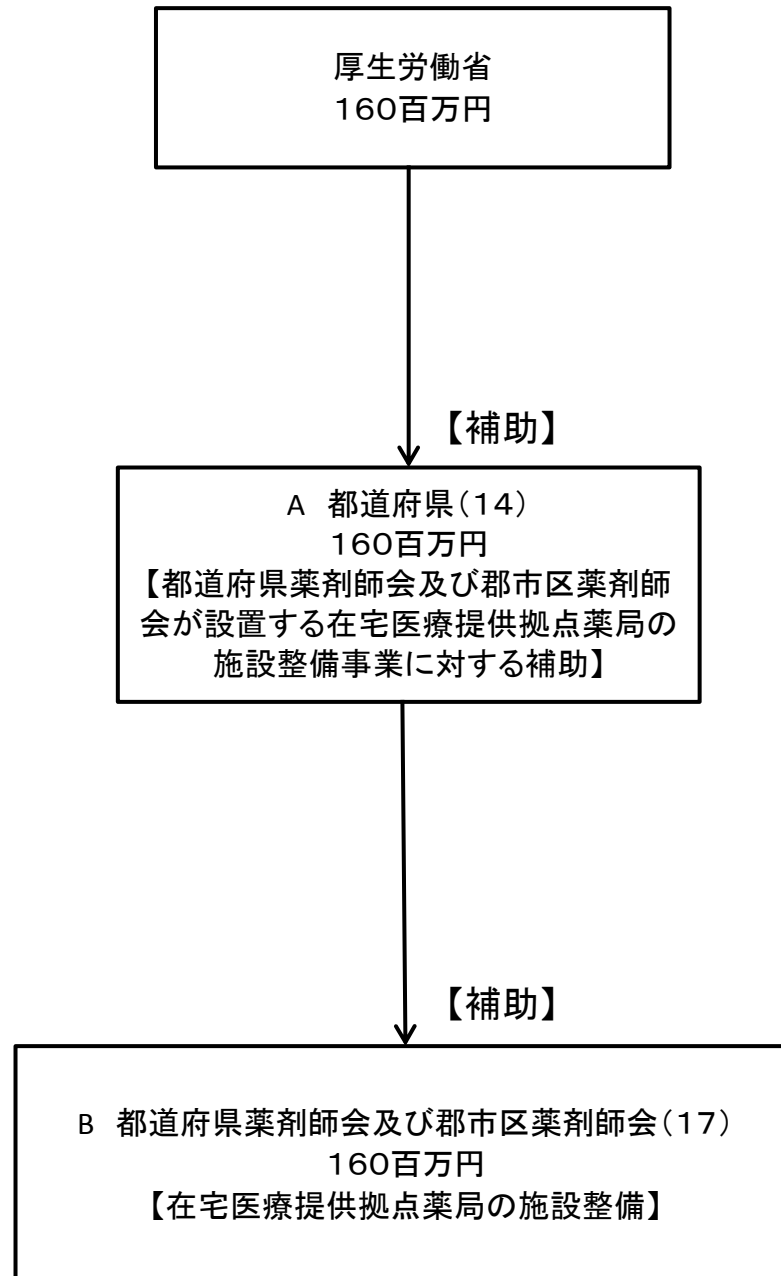


平成25年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	在宅医療提供拠点薬局整備事業		担当部局庁	医薬食品局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度		担当課室	総務課		課長 鎌田 光明		
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-6-3 医薬品の適正使用を推進すること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	がん患者等の在宅医療を推進するため、高い無菌性が求められる注射薬や輸液などを身近な薬局で調剤できるよう、拠点薬局の無菌調剤室の共同利用体制をモデル的に構築し、もって薬局における在宅医療の推進に寄与することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	地域拠点薬局に無菌調剤室を整備するために必要な費用に対する補助を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算			160	20	20	
		繰越し等						
		計			160	20	20	
	執行額			160				
	執行率 (%)			100%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)	
	地域拠点薬局に無菌調剤室を設置することで、共同利用体制をモデル的に構築することにより在宅医療を推進するものであるため、定量的な指標を設定することは困難。		成果実績	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	補助対象件数		活動実績 (当初見込み)	件	-	-	17	-
					-	-	(16)	(2)
単位当たりコスト	9.4(百万/件)		算出根拠	○平成24年度 160,132千円÷17件 (本事業の補助金額)÷(補助件数)				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	医療施設運営費等補助金	20	20					
	計	20	20					

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	本事業は、在宅医療の推進に寄与する事業であることから、国民のニーズがあり、また国費により実施すべき事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	拠点薬局の無菌調剤室の共同利用体制をモデル的に構築する事業であるため、国において整備要綱等を定め、実施すべきである。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	在宅医療の推進に寄与する事業であり、優先度が高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	外部委員で組織する審査委員会を設置し、整備計画の審査を行うことにより、交付先を選定している。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	受益者が当該事業を行う上で必要となる額を補助額として設定しており、負担関係は妥当である。	
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	無菌調剤室の設置に必要な費用として妥当である。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○	本事業は、当省が交付要綱等を定め、それに基づき、各都道府県は無菌調剤室設置に必要な経費を都道府県薬剤師会及び郡市区薬剤師会に対して交付しており、支出は合理的である。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	費目・使途は、事業実施に必要なものに限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—	—	
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—	—	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	活動実績は見込みに見合ったものとなっている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	整備された無菌調剤室は地域の在宅医療の推進に活用されている。	
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—	—	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	平成24年度は14都道府県に対し補助金を交付し、17薬局に無菌調剤室を整備したところである。今後も引き続き拠点薬局に無菌調剤室を整備し、在宅医療の推進に寄与していく必要がある。				
外部有識者の所見					
引き続き適正執行に努めること。「(長崎、井出)」					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	本事業は、在宅医療の推進のため、地域拠点薬局の無菌調剤室整備実施に必要な経費であり、引き続き効果的な事業実施が図られるよう、適切な予算措置に努めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	—				
備考					
本事業は、無菌調剤室の共同利用体制が整えられていない地域であって、外部の委員で構成される審査委員会が当該地域に設置する必要がある、かつ、他の地域のモデルになると認められる申請に対して無菌室の設置費用を補助するものである。今後、平成28年度までの5カ年を目処に実施し、各都道府県からの申請状況等を踏まえ、その後の事業の継続・予算規模等について検討する予定である。					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
	平成22年	—	平成23年	—	平成24年
					新24-018

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位: 百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.福岡県			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
補助金	宗像薬剤師会への補助	10			
補助金	遠賀・中間薬剤師会への補助	10			
補助金	福岡市薬剤師会への補助	10			
計		30	計		0
B.青森県薬剤師会			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	無菌調剤室設置工事	10			
計		10	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.都道府県

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	福岡県	都道府県薬剤師会及び郡市区薬剤師会が設置する在宅医療提供拠点薬局の施設整備事業に対する補助	30		
2	石川県		20		
3	青森県		10		
3	千葉県		10		
3	大阪府		10		
3	大分県		10		
3	沖縄県		10		
8	福井県		10		
8	静岡県		10		
10	兵庫県		9		

B.都道府県薬剤師会及び郡市区薬剤師会

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	青森県薬剤師会	無菌調剤室設置工事	10	随意契約	
1	市川薬剤師会		10	随意契約	
1	金沢市薬剤師会		10	随意契約	
1	大阪府薬剤師会		10	随意契約	
1	宗像薬剤師会		10	随意契約	
1	大分県薬剤師会		10	随意契約	
1	小松能美薬剤師会		10	随意契約	
1	遠賀・中間薬剤師会		10	随意契約	
1	福岡市薬剤師会		10	随意契約	
1	北部地区薬剤師会		10	随意契約	